

日本物理学会 2008 年第 63 回年次大会：誘電体分科インフォーマルミーティング

日時：平成 20 年 3 月 24 日（月）17:10 - 18:10
場所：近畿大学東大阪本部キャンパス YE 会場
参加者：20 名程度

議題

1. 次回シンポジウム等の企画について
2. 次々期世話人の決定について
3. 国際学会の報告・案内について
4. 報告・提案事項
5. 連絡事項
6. その他

協議事項

1. 次回シンポジウム等の企画について

概要

- 2008 年秋季大会（於：岩手大学上田キャンパス）でのシンポジウム、招待講演についてメーリングリストで推薦を募った。
- 現在までに寄せられた企画は、シンポジウムが 0 件、招待講演が 1 件である。
- シンポジウムは領域 10 では毎回 2 件程度までが採択される模様。
- 今回（2008 年第 63 回年次大会）は領域 10 からの提案が 4 件あったが、実際に採択されたのは 2 件（誘電体、X 線・粒子線）であった。
- 他に提案が無いか議論した。

招待講演提案

提案内容

提案者	上江洲 由晃 先生（早大院理工）
招待講演者	Ronald Cohen 教授
所属	米国 Carnegie Institute of Washington
講演題目	Material designs by the first principle calculation (Tentative)
時間	45 分
趣旨	Ronald Cohen はよく知られているように R.Resta, D.Vanderbilt とともに強誘電体の第一原理の基礎を築いた研究者である。特に代表的な強誘電体である BaTiO ₃ と PbTiO ₃ の相転移の違い(Nature, 358, 136(1992))、リラクサー・強誘電体固溶体のモルフォトロピック相境界での分極回転を明らかにした論文(Nature 403, 281 (2000))は世界にインパクトを与えたが、最近は圧力効果、非線形光学効果、など対象を非常に広げて研究を行ってきている。特に pure な PbTiO ₃ においても高圧下で MPB 状態が存在し、そこで巨大な圧電効果が発現することを見出した(Nature, 451, 545(2008)).毎年米国 Williamsburg で Fundamental Physics of Ferroelectrics の

WS を開催し、世界各国から主要な研究者を集めて、密度の高い議論を行う場を作っている。現象論に傾きすぎているわが国の強誘電体研究を他の分野からみても魅力あるものに変える必要を痛感するが、この一つの試みとしてこのような企画を提案したい。

補足 (世話人より)

本来であれば、提案を受けメーリングリストでの意見交換の後に本シンポジウムでの承認となる流れであるが、提案からの日時が無かったため先に承認を得る形となった。後日、メーリングリストへ意見を伺い、問題が無ければ学会へ申請することとしたい。

意見・決定事項

- とても興味のある内容で、他の分野からも魅力のある講演なのでぜひ実現させてほしい。
- メーリングリストで講演について大きな反対が出なければ問題は無い。
- 上の提案をインフォーマルミーティングの結果として承認する。メーリングリストで意見を募った後、上江洲先生に(正)提案書を書いていただき、4月30日(水)までに学会のホームページから提案申請を行っていただく。

参考) 招待講演・特別講演、シンポジウム提案申請までの流れ

1. シンポジウムの企画発案者は提案書(案)を世話人に提出する。
2. 世話人関係者で提出された提案書(案)に対し意見を出し合う。
3. 参考意見をもとに、提案書(案)を手直して、世話人に再提出する。
4. 世話人は誘電体分科構成員(メーリングリスト登録者)に対して、提案書(案)を電子メールで公開する。構成員は、提案書に対する各人の意見を世話人に提出するか、あるいは誘電体分科のインフォーマルミーティングに向け準備する。
5. 提案書(案)についての実質的な審議は誘電体分科のインフォーマルミーティングで行う。インフォーマルミーティングの了解が得られた後に、提案者は物理学会のホームページから提案申請を行う。

2. 次々期世話人の決定について

次々期世話人の推薦と決定

- 次々期世話人(任期:2008年11月~2009年10月)をメーリングリストにて募集した。
- 本インフォーマルミーティングでの推薦は挙がらなかった。
- 世話人グループからの推薦として、王 瑞平 先生(産業技術総合研究所)を提案した。
- 賛成多数で王 瑞平 先生にお願いすることで承認された。

参考) 近年の世話人

年	春の学会		秋の学会	
2003年	渡部行男	(九州大)	伊藤 満	(東工大)
2004年	岩田 真	(名工大)	辻見裕史	(北大)
2005年	重松宏武	(島根大)	南 英俊	(筑波大)
2006年	清水文直	(いわき明星大)	小林 正	(大分大)
2007年	森吉千佳子	(広島大)	副島雄児	(九州大)
2008年	喜久田寿郎	(富山大)	狩野 旬	(筑波大)
2009年	?			

3. 国際学会の報告・案内について

すでに開催された国際学会

AMF-5 第5回アジア強誘電体会議

(2006/9/3-7 東理大・野田キャンパス)

- Ferroelectrics Vol.355-358 にプロシーディングスが掲載された。
- 各号の内容は以下のとおり。

355	Section A	Fundamentals
	Section B	Relaxors
356	Section C	Dielectric & Ferroelectric Properties of Ceramics
	Section D	Microwave Dielectrics
	Section E	Processing, Structure & Properties
357	Section F	Thin Films
358	Section G	Lead-based Piezoelectric Materials & Applications
	Section H	Lead-based Pyroelectric and Piezoelectric Materials

EMF-2007 第11回ヨーロッパ強誘電体会議

(2007/9/3-7 Bled Convention Centre and Hotel Park, Bled, Slovenia)

3月から論文の校正が始まった。

これから開催される国際学会

RCBJSF-9 第9回日露/CIS/バルチック強誘電体シンポジウム

期間	2008年6月15日~20日
場所	Vilnius University, Lithuania
アブストラクト締切	2月15日(締め切られています)
登録受付(早期)	4月30日まで
論文受付締切	6月16日
URL	http://www.rcbjsf.ff.vu.lt/

参加費についてはホームページを参照ください。

日本からの参加者は参加費が免除されます。(Registration fee for participants from Japan is waived out.)

KJCFE-07 第7回韓日強誘電体会議

韓日強誘電体会議について日本側組織委員長の清水 先生(兵庫県大)より紹介があった。

期間	2008年8月6日~9日
場所	韓国済州島・チェジュ大学
アブストラクト締切	5月2日
登録受付(早期)	6月5日まで
URL	http://rcdamp.phys.pusan.ac.kr/KJCFE07/main.html

3月12日に First Circular が公開された。

参加費、宿泊地については準備中。

AMF-6 第6回アジア強誘電体会議

期間	2008年8月2日～6日
場所	台湾・台北科技大学
アブストラクト締切	3月15日 3月31日(延長されました)
登録受付(早期)	6月30日まで
URL	http://www.ntut.edu.tw/~wwwamf6/

IUCr2008 第21回国際結晶学会連合総会

期間	2008年8月23日～31日
場所	グランキューブ大阪(大阪国際会議場)
アブストラクト締切	3月31日 4月20日(延長されました)
登録受付(早期)	5月15日まで
URL	http://www.iucr2008.jp/

4. 報告・提案事項

若手奨励賞(2008年度～)について

第二期審査委員(任期2008年10月～2010年9月)

2008年秋期大会インフォーマルミーティング各分科から推薦する。誘電体分科では岩手大学でのインフォーマルミーティングで検討する。

公募について

公募案内	5月下旬に出されるもよう
公募締め切り	8月15日(?予定)
審査委員会	開催 9月下旬(岩手大学の学会期間中?)
備考	原則として受賞年の3月31日時点で37歳以下

領域レビューセッションについて

- 領域・分科の活性化のため候補者を多く推薦したいので、今後の講演者をご推薦下さい。
- 講演者を関連領域で事前に打ち合わせする。

参考) 領域レビューセッションとは

領域レビューセッションは若手研究者を対象とし、たとえば博士号取得直後の若手研究者が今後の研究テーマを設定するのに参考となるようなレビュー講演を想定している。講演者は自分の専門領域のみにとどまらず、関連領域のレビューを行うことが求められている。また、高校生等への科学啓蒙の意味もあるとする意見もある。

次期領域副代表について

次期(任期:2008年10月～2009年9月、その後1年間領域代表)の領域副代表が領域10インフォーマルミーティングで野田幸男先生(東北大・X線粒子線)に決定された。

参考) 現在の代表・副代表(任期:2007年10月～2008年9月)

代表	竹田 精治 先生(阪大・格子欠陥)
副代表	小島 誠治 先生(筑波大・誘電体)

キーワードについて

講演申込時のキーワードの英語表記の見直しが行われました。以下のキーワードの英語表記が変更されました。

(4)X線・粒子線	(4) X-ray and particle beams
(31)陽電子	(31) positron
(32)中性子	(32) neutron
(66)NMR・ESR	(66) NMR/ESR
(72)誘電分散	(72) dielectric dispersion

また、以下のキーワードが追加になりました。

(78)格子力学	(78) lattice dynamics
----------	-----------------------

リクエストがあれば、その都度キーワードを変更・追加・削除できます。世話人まで。

誘電体分科ホームページについて

誘電体分科ホームページを管理している 狩野 先生(筑波大)よりホームページをもっと魅力あるものに改善していきたいという提案と、何かご意見・アドバイスを寄せてほしいとのお願いがあった。以下の要望・意見が寄せられた。

- 若手奨励賞をもう少しPRしたい
- 公募情報、予算関係のお知らせを載せてはどうか

誘電体メーリングリストについて

誘電体メーリングリストは、これまで 小野寺 先生(北大)のご好意により管理・運営が行われてきている。今後も負担がなければ継続してお願いできるかを尋ねたところ、後2~3年は運営管理可能とのこと。しかし、今後負担が増すようなことがあれば交代しなければならないので、管理・運営を行ってくださる方を今後検討していかなければならないことを確認した。

5. 連絡事項

2008年秋季大会

開催地

岩手大学 上田キャンパス

期日

2008年9月20日(土)~23日(火)

インフォーマルミーティングの申込(世話人が対応する)

4月9日(水)~5月23日(金)

招待講演, 企画講演, シンポジウム企画

Web 4月9日(水)~4月30日(水)

一般講演 申込期間

郵送 5月9日(金)~5月23日(金) 17:00

Web 5月9日(金)~6月1日(日) 17:00

講演概要集原稿締切

郵送, pdfとも 7月18日(金)必着

6. その他

2008 年秋季大会プログラム編集会議

- プログラム編集会議 6月13日(金) 世話人(喜久田、狩野)で対応する。
- 講演順序、日時などの申し込み後の変更は6月6日までに世話人までお知らせくだされば、比較的容易に対応できます。

領域 10 のホームページについて

領域 10 のホームページが立ち上がっている。内容などの提案をお寄せください。

日本物理学会論文賞

物理学会事務局へ推薦をお願いします。

領域 10 連絡係

領域の代表の分科会世話人が担当している。現在は格子欠陥分科の世話人が担当。10月から誘電体の世話人へ引き継がれる。

領域 7 と領域 10 との合同セッションについて

会長からの領域に閉鎖せずに横断的な合同セッションを企画せよとの指示により、今学会では領域 7 との合同セッション「ナノチューブ・グラフェンの欠陥構造」が急遽行われた。今後も合同セッションを企画するよう指示が来ると思われる。誘電体では領域 5 との合同セッションを既に行っているが、誘電体分科として他にどのような可能性があるかを提案してほしい。

- 領域 3 (磁性)、領域 8 (磁性・低温) との合同 (マルチフェロなど)
- 領域 12? とのセッション (誘電緩和など)
- 合同を多くしすぎると誘電体分科がばらばらになるのでは?
- 合同セッションの種類を増やすのはいいが、一度に同時に多数行うのではなく、毎回領域・分科を変えて行う方がいいのでは?
- 誘電体からだけ提案を出さない方がいい。

その他

(記載なし)

以上